ブースセッション参加チーム

パネル展示や実演・解説

パネル展示を前に各種のデモンストレーションや解説などを行います。

1 函館大 チーム 台湾教育旅行プロジェクト

函館〜台湾教育旅行による地域活性化

私たちは、台湾の長榮大学と共同で高校生向けの海外教育旅行を推進することによって地域活性化を図る研究を進めています。これまで、函館と台湾の高校に対し、教育旅行の現状について、アンケート調査を行いました。また、それを基に両国の学生が共同で教育旅行推進のための検討をしたので報告します。

チーム代表 釜萢真希
チ ー ム 員 照井和樹・川道誠也・吉原健斗・髙森美聖・南龍治・鈴木里彩・桜木晴香・三上めぐみ・木村乃暉・桜木晴香・佐藤舞香・田原和・西ケ花世凪・秋田涼梨

2 函館大 チーム 商学実習Ⅱ 井上クラス

文化歴史的活動理論を用いた、冊子「PLAISIR」制作過程の分析

このプロジェクトでは、人間の学習過程を活動の拡張と捉え、自らの活動を反省的に創造していくことを目指しています。学生向けフリーペーパーの制作を行い、アクションリサーチという方法を用いて文化歴史的活動理論に基づき分析を行っています。

チーム代表 赤塚 歌音
チ ー ム 員 阿部拓人・相原幸太・逢坂優花・佐藤健・新明歩・高橋綾花・土井瑞樹

3 函館大 チーム 商学実習Ⅰ 藤原クラス

こんにちは、ムスリム！

本研究では、函館の新たな観光客源の開発と受け入れ態勢の整備を目的としている。2015年のムスリムの海外旅行者数は約1億1700万人で、2020年にはその経済効果が2,000億ドルを超えると予想される。実際、来日ムスリムも著しく増えており、観光都市函館の戦略的発展に欠かせない要素と思われる。

チーム代表 高野美紗
チ ー ム 員 鎌田涼が・竹林稚奈・谷口和希・濱野裕介・古谷司・松橋妃花・若山静哉・和田大地・渡辺翔・渡裕太

4 北大水 チーム アオコキラーズ

アオコが消える？！殺藻細菌の殺藻機構

大沼や五稜郭でも度々問題になるアオコ。有害植物プランクトンの大発生が原因で、深刻な被害をもたらします。近年、アオコ藻類を殺す細菌の存在が明らかになり、アオコの抑制に応用できるのではと注目されています。我々は五稜郭外堀由来の細菌を用い、殺藻の仕組みとその利用法を研究しています。

チーム代表 小峯佳奈子
チ ー ム 員 赤松知音・斎藤航・新村樹

5 北大水 チーム 北大ソイ・メバル組

ソイ・メバル 〜養殖事業の拡大を目指して〜

北海道のおいしい重要水産魚種として期待されるソイ・メバルの養殖技術の確立に向けて、様々な観点から繁殖の仕組みを解明していきます！ソイとメバルはなんと魚なのに赤ちゃんを産みます！ブースで詳しく説明するよ！来てね！

チーム代表 沼山杏菜
チ ー ム 員 柴田侑人・竹内真論・戸矢樹・紫藤勇磨・道場拓真

6 北大水 チーム 水産ウォッチ

健康機能と遺伝子の大冒険だニャン！

北海道にはまだまだ未利用の水産資源がたくさんあります。私たちは、未利用水産生物や水産廃棄物に含まれる有用成分を探索し、それらの健康機能性や遺伝子構造を解明しています。今回は、『チョウザメのコラーゲン』と『海藻の遺伝子』についてご紹介します。

チーム代表 柿崎真里奈
チ ー ム 員 川口寧々・澄川果奈・渡邉慧

7 北大水 チーム 化学工学・ヨウ素低減コンブ開発チーム

たくさん食べても安心！ ヨウ素低減コンブの開発

日本食に欠かせないコンブはヨウ素を多く含んでいます。ヨウ素は人体に必要なミネラルですが、特に日本人はこれを摂りすぎな傾向にあり、甲状腺異常のリスクが指摘されています。そこで私達はヨウ素量を通常の10%以下に抑えたヨウ素低減コンブを開発しております。この技術について紹介いたします。

チーム代表 喜多壮太
チ ー ム 員 高橋健吾

8 北大水 チーム 凝集分離チーム

大豆たんぱく質を使って 大沼の水を浄化せよ

私たちは、大豆たんぱく質から作られる環境にやさしい凝集剤を使って、夏に大沼などの湖沼やダム湖で発生してしまい環境に悪影響を与えてしまう「アオコ」を取り除く方法について研究しています。今回はどうやって凝集剤の性能を評価するかについて紹介していきます。

チーム代表 小笠原勇貴
チ ー ム 員 天下和馬・伊藤彰則

9 北大水 チーム ウイルスバスター

腸内細菌で魚の病気を予防しよう！

ヒラメ仔魚に発生し、致死率が高い「ウイルス性表皮増生症」。一方、健常ヒラメ腸管内からは抗病原ウイルス活性を有する細菌が見出されており、プロバイオティクスによる防御が期待されています。私達は有用腸内細菌の効果的な利用法の開発を目指し、抗ウイルス物質の解明と機能解析を行っています。

チーム代表 三浦友視
チ ー ム 員 野口峻太朗・本田彬人・池田広樹

10 北大水 チーム 化学工学・反応工学チーム

イカやホタテに捨てる所無し！ 〜北海道の水産廃棄物でディーゼル燃料を作る〜

イカゴロやホタテウロ等の廃棄物には脂質が多く含まれます。脂質の中には健康に良いと言われているEPAやDHAなど付加価値のあるものとないものがあります。この付加価値のないものをホタテ貝殻触媒を用いたエステル交換反応でディーゼル燃料へと変換する研究を行っています。イカやホタテに捨てる所無し！

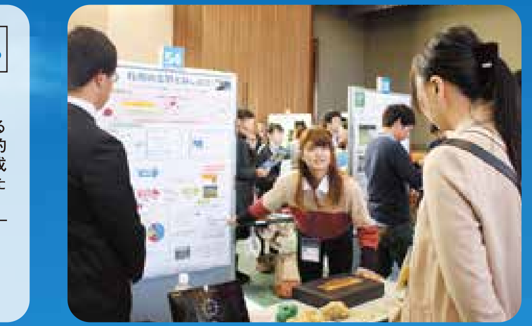
チーム代表 大西佳那
チ ー ム 員 古川暁飛

11 北大水 チーム カドミウム、ゴロから取るか？ウロから取るか？

廃棄物を魚のエサにする！

私たちはイカやホタテの廃棄部分を魚のエサに変えるための技術を開発しています！魚のエサ不足は世界的な問題となっており、このままでは将来的に養殖業が成り立たなくなるかもしれません。この問題を解決するために、私たちが日々研究している技術を紹介します！

チーム代表 豊嶋彩香
チ ー ム 員 杉崎篤



12 函短大 チーム はこたんpark

公園の遊具が教えてくれたこと

皆さんは近年、子どもの遊び場が減少している中で、特に公園遊具が使用禁止になっている所を目にしたことや、以前あった遊具が無くなっていると感じたことはありますか？私たちは、その背景や子どもの能力との関連について調査し、遊具が子どもに与える影響について探りました。

チーム代表 服部未来
チ ー ム 員 網森舞・徳田奈々

13 函短大 チーム てんぷら

揚げ物 〜油にまつわるエトセトラ〜

みなさんは、揚げ物が好きですか。揚げ物には油を使います。繰り返し使用した油は加熱により劣化します。どんな油が劣化しにくいか知っていますか。使用した油がどのくらい劣化しているか測定していましょう。また、食用油の種類や生体内での役割など油にまつわる話題をご紹介します。

チーム代表 横田雄大
チ ー ム 員 角田悠人・松橋里奈

14 函短大 チーム もぐもぐ調査隊

栄養教諭ってどんな仕事？ 〜生涯にわたり大切にしたい食育〜

私たちは函館市の子どもの食の実態をもとに、楽しく学びながら食の知識の向上や行動変容を目指した授業を研究しています。ステージ発表では子どもたちの実態と実際に行った授業の一部を紹介します。ブースでは、食の授業で使用した教材の展示も行いますのでぜひお越しください。

チーム代表 松浦瑞穂
チ ー ム 員 奥村太一・蛯子夏純・佐々木藍海

15 未来大 チーム 函館市陣川あさひ町会アプリ「じぷり」2017

陣川町会アプリ「じぷり」の改善と新機能実装

私たちは、函館市陣川町の町会アプリである「じぷり」を開発しています。このアプリは町会で行われているイベントの管理や陣川町に関するお知らせの情報発信の負担を軽減するためのアプリです。ブースでは、実際にアプリを使ってデモを行うので、ぜひお越しください。

チーム代表 相川健太
チ ー ム 員 佐藤太郎・新川喜彬・松井大成・須藤か志こ

16 未来大 チーム ミライケータイプロジェクト[re:]

未来的なサービスの企画と スマホアプリの開発

私たちは5年後に当たり前に使われているような未来的なサービスを企画し、そのサービスを実現するためのスマホアプリの開発を行っています。今年度は3つのサービスを企画し、開発を進めています。企画概要の説明やスマホアプリのデモを行いますので、ぜひお越しください。

チーム代表 酒井幸奈
チ ー ム 員 鎌田幸希・佐藤敦也・岩佐和真・川北紘正・藤本巧海・山名 風太

17 未来大 チーム 使ってもらって学ぶフィールド指向システムデザイン2017 石別グループ

石別になんども行くきっかけになる アプリケーションの開発

私たちは、北斗市石別地区の魅力を伝える観光アプリを開発しています。ブースでは実際に開発するアプリのモックアップをお見せしますので、ぜひお越しください。

チーム代表 葛西翔太
チ ー ム 員 上杉明日香・関根遼・西谷歩

18 未来大 チーム 認知症予防のための食習慣改善システム

認知症予防のための 食習慣改善システムの開発

私たちは、認知症の発症に大きく関わっている食習慣に着目して、高齢者を対象とした食習慣改善システムを開発しています。このシステムはICTに不慣れな高齢者の方でも簡単に使っていただける工夫を行っています。ブースでは、システムのデモを行うので、ぜひお越しください。

チーム代表 山根春貴
チ ー ム 員 佐藤礼於・佐藤碧・堀沙枝香・頼亜弥

19 未来大 チーム ロケーションベースサービスの展開

"ICAS割" —すべての公共交通機関を お買い物バスとするサービス—

多くの商店等では自家用車利用客への駐車場割引などがあるが、市電・バスなどでの来客を補助するサービスは見当たらない。このプロジェクトでは「交通系ICカード」で公共交通機関を利用した来客を識別しクーポン等を表示印刷できる小型で設置容易なシステムを提案する。これにより商店と公共交通利用の活性化が期待できる。

チーム代表 小野優飛
チ ー ム 員 北野雅貴・橋本智広・森谷光・田中哉光・石戸雄太・斉藤大・福沢圭一郎・東爵亜久・西久保有沙・高崎昌宏

20 未来大 チーム 高度ICT演習 おさかな前線

おさかな前線：AIによる イカ漁獲時期の予測

私たちは、明日の漁獲量が分かる漁業版桜前線「おさかな前線」の開発をしています。現在は過去のイカ漁獲量の地図上での可視化と、将来的なイカ漁獲量の予測を行っています。近年人工知能分野に大きなブレイクスルーをもたらした機械学習技術を、漁業へ応用した斬新な取り組みです。

チーム代表 黒川大智
チ ー ム 員 宮井和輝・井上航次郎・三好良弥・古川晃也・海老原天紀・鈴木利武・髙田将吾

21 未来大 チーム 高度ICT演習 水温センサ

下層水温観測センサを用いた イカ漁支援システム

この演習では、安価で小型な水温センサを開発し、イカ漁を支援することを目的としています。スマートフォンから簡単に操作することができ、一般の漁業者でも手軽に海水温情報の取得や送信を行うことが出来るシステムを目指しています。

チーム代表 中田裕貴
チ ー ム 員 長内一真・橋場保鷹・雫石卓耶・高橋大輔・寄田慧・小枝俊也

22 未来大 チーム 高度ICT演習 Fintech

仮想通貨FUNneyの開発

近年、"Finance"と"Technology"を掛け合わせた"FinTech"が注目されています。本プロジェクトでは"金銭ではない通貨"によって"新たな価値による取引"を実現させるため、仮想通貨 FUNney の開発を行っています。

チーム代表 七海龍平
チ ー ム 員 大村優輝・軍司俊実・白幡祐叶・田尻宗準・高橋啓太・中村朝陽・渡邊慎太郎・横浜拓樹・市岡晃・松崎伸彦

23 未来大 チーム 高度ICT演習 バス浪漫班

未来大生のためのバスアプリの開発

私たちは、函館バス株式会社様や株式会社SEC様のご協力のもと、バスの乗り遅れや、バスの待ち時間を減らすためのアプリケーションを開発しております。現在は未来大生向けのアプリですが、今後は市内全域に適応していく予定です。ぜひお越しください！

チーム代表 伊藤泰斗
チ ー ム 員 佐藤孝大・横山新・葛西翔太・田畑希望・中村陽太・山口賢澄・埜田匡

24 未来大 チーム 高度ICT演習 FUNsys

高度ICT演習 FUNsys

私たちは、未来大学の学生が自発的かつ容易に学内アプリケーション及びシステムを開発出来るように、未来大の様々な情報を簡単に利用できるようにするためのシステムを開発しています。そして、システムを使用して未来大生の学校生活に役立つカレンダーアプリをサンプルとして開発します。

チーム代表 永井陽太
チ ー ム 員 諸原聖・岡本拓郎・深谷健太・中川瑠星・城田晃希・津沢慎吾・大山義人・戸澤涼・白川知裕・小川卓也・室田大地

25 未来大 チーム 高度ICT演習 観光系 函館スイーツ班

函館スイーツの魅力を広めるための アプリ開発

本プロジェクトでは、函館スイーツの魅力を観光客や市民の方々に広めることを目指しています。そのために、函館市経済部の方々や函館スイーツ推進協議会の方々と協力して、モバイルアプリケーション開発に取り組んでいます。

チーム代表 外舘有希
チ ー ム 員 河辺雅史・辻浦崇大・中進吾・山名風太・髙橋佑太

26 未来大 チーム 高度ICT演習 はこだてMap+

函館のまちと歩く「はこだてMap+」

本プロジェクトは、LODを用いて地域情報の公開と活用を促進し、地域活性化に貢献することを目的に活動しています。今年度は昨年に引き続き、函館観光アプリ「はこだてMap+」のiOS版とAndroid版の開発に取り組んでいます。実機を用いたデモも行いますのでぜひいらしてください。

チーム代表 佐藤碧
チ ー ム 員 和田周・松井大成・笠井新・田島拓実・武信雄平・中村拓音・斉藤由樹・工藤大山・友広純々野

27 未来大 チーム 高度ICT演習 観光系 キーコ紀行班

思い出をリーフレットにする 「キーコ紀行」

私たちは、観光の思い出をより深いものにすることを目的として、木古内町観光アプリ「キーコ紀行」を開発した。多くの観光客は観光時に景色や食べ物の写真を撮影する。このアプリでは、従来の観光案内に加え、撮影した写真を使ってリーフレットの印刷ができる。

チーム代表 中井崚日
チ ー ム 員 山川拓也・相川健太・池田俊輝

未来の自分を
思い描こう。

28 北教大 チーム 国際協力実習研究チーム

対カンボジア支援の現状と将来展望

この研究では、1970年頃から約30年にわたり続いた内戦の負の遺産を今も抱えるカンボジアの現状と開発課題、並びに現在行われている多様な機関による国際協力や民間機関の活動の現状と課題を実地に調査し、今後の対カンボジア支援の目指すべき方向性について検討を行っています。

チーム代表 小林夏海
チ ー ム 員 榊浩佑・小笠原佳純・小林奈帆・川岸聖・後藤ほのか・花井亜由美クリス・大谷光・黒畑柚乃月

29 北教大 チーム 少年非行調べ隊

インターネットの利用が原因となる 少年非行防止のための提案

子どものインターネット利用が増加し続けている中、コミュニティサイト等が絡んだ少年非行が問題となっている。本研究では教育現場と家庭が連携して、インターネットの利用が原因となる少年非行を未然防止するための対策について提案する。

チーム代表 亀田春花
チ ー ム 員 香西優恵・竹田康輝・小野寺燈・風晴翔太・北島紗羅・博田祥代・前多佳輔・三浦ゆりえ

30 北教大 チーム チームきむゼミ2017

小学生のネットいじめ対策として大学生ができる支援

ネットいじめは、従来のいじめと同様に関わる児童が止めに入れない、教師や親に相談できないなどの現状がある。しかし、その中でも声を上げてくれた子どもを支援していく必要があると考える。本研究では、大学生の立場を利用してどういった支援ができるか考察する。

チーム代表 布施澄也
チ ー ム 員 前川珠代・北山澄佳・三浦ゆりえ・小野寺燈・北島紗羅・風晴翔太・博田祥代・前多佳輔

31 北教大 チーム 石井ゼミ

函mathプロジェクト

渡島管内の児童は、全国学力・学習状況調査の結果から、日常事象における数学的な見方、考え方に関する問題が苦手であることがわかっています。そこで、児童にとって身近で楽しい函館地域に関する算数問題の作成に取り組み、児童の学力向上を図るとともに、地域への愛着をもたせることを考えています。

チーム代表 村田幸恵
チ ー ム 員 渡邉優希・砂庭玲奈・森脇秀岳・佐々木諒平

32 北教大 チーム 三上研究室 アメシロ班

安くて安全！害虫駆除の道

函館市ではアメリカシロヒトリ（通称アメシロ）という蛾の幼虫が街路樹を食害しています。その対策として、薬剤散布や樹の剪定が行われていますが、費用がかかり薬剤は使える場所も限られます。私たちの考えた「夏秋こも巻き」を使えば、安価で安全な駆除が可能になるかも！

チーム代表 鎗田理加
チ ー ム 員 高松美咲

33 北教大 チーム 古地ゼミ3期生

3E（ええまち・江差で・ええ笑顔）

わたしたちは、今回の政策を考えるにあたって、江差町の伝統的なお祭りである「姥神大神宮渡御祭」への参加や、商店街の方々と実際に話す機会を何度も設けました。それを踏まえた上で、江差というまちにすでに存在する素材を一つのものとしてまとめることにより地域の政策に繋げようと試みました。

チーム代表 中村百恵
チ ー ム 員 喜多村ひなの・小関そよ香・天童佳菜・中村瀬奈・堀川美琴・松岡潤・村上陽菜・山本夏奈子

34 北教大 チーム Regional Policy Group

法華寺通り商店街から 道南・江差町を元気にする

我々は、ゼミ活動の一環として毎年道南江差町の姥神大神宮渡御祭に参加し、その縁から清正山のある本町法華寺通り商店街の再生を買って出た。今回は本商店街をケーススタディとした政策リサーチを行ったうえで、商店街再生に向けた政策アイディアを提案する。

チーム代表 飯尾遼太
チ ー ム 員 保坂波澄・元村圭佑・柴田翔太郎・佐々木柚香

35 北教大 チーム 日本語教育学ゼミナールA

日本語学習者にも分かりやすい文章についての考察 —日本語母語話者が書く文章に着目して—

日本語を学んでいる外国人の方とよりよいコミュニケーションを行うための研究をしています。今回は、普段外国人と日本語でコミュニケーションをよく行う人とあまり行わない人が書く文章の比較をしました。結果から、ふりがなや文字数など文章を書く際に気をつけた方がいいことを提案します。

チーム代表 勘田祐花
チ ー ム 員 無し

36 北教大 チーム 日本語教育学ゼミナールB

動詞「壊す」に関する研究

この研究は、動詞「壊す」と「破る」、「折る」、「割る」の意味と対象物の違いを明らかにします。また、これらの動詞の使い分けが、日本語学習者にとってどのように難しいのか、どのような間違いが引き起こされやすいのかについても調べます。

チーム代表 相馬安那
チ ー ム 員 無し

37 北教大 チーム 日本語教育学ゼミナールC

地域日本語支援を行う可能性がある 学生への支援に関する研究

本研究では、地域の日本語支援に新たな参加者を呼び込むためにはどのような支援が必要なのかを調査し、支援の内容を提案します。アンケートによって、日本語支援に興味を持つ人は、日本語の教え方に不安を持っていること、女性は日本語支援にプラスのイメージを抱いていることが明らかとなりました。

チーム代表 外崎椎奈
チ ー ム 員 無し

38 極東大 チーム 羅武露夫

Love ラブロフ！－ロシアの見方－

激動の21世紀の世界におけるロシアの立ち位置はどこか？ロシア外交のベテランで来函歴もあるラブロフ現外相が若者からの質問に答え外交を語ります。私たちはそんなラブロフの声を聞き取って翻訳しました。なかなか触れる機会のないロシアの今の政治の本音を函館に届けます。

チーム代表 金子智昭
チ ー ム 員 小泉文哉・奥山茜・山本実里奈・權田和希・長瀬光輝・大平桃子・髙橋由

39 極東大 チーム マロた

エカテリンブルグ 国際青年キャンプに参加して

私たちは、7月に日露青年交流センターの事業でロシアのエカテリンブルグ国際青年キャンプに参加しました。プログラム内ではロシア最大の産業見本市イノプロムにも訪問する機会があり、様々なことを研修の中で体験することができました。この体験で学んだことを今回は発表します。ぜひお越しください。

チーム代表 工藤文弥
チ ー ム 員 鈴木康太・平原響・竹内のぞみ・相川将太・竹中英雄

40 大谷短 チーム チーム 伊藤ゼミ

本学アクセシビリティ方針の 策定に向けて

公的機関に求められるアクセシビリティ方針の公開に向けて、本学のウェブサイトがJIS X8341-3を満たしているのかどうかを試験し、満たしていないものに関しては改善提言を行うものとして活動しています。
その経過報告を発表します。

チーム代表 澤向恵梨奈
チ ー ム 員 石田朱里・東海林亮太・外山馨・田澤佳大・旦尾基樹・齊藤菜沙・佐々木京子

41 大谷短 チーム M2 With GO

函館市内の保育者の リアリティショック

昨今、全国的に保育者不足が問題となっているが、その一方では保育者の早期離職も問題となっている。本発表では、函館市内の保育者を対象に、保育者のリアリティショックについて究明し、処遇改善だけでは解決しえない、保育者の現状を伝えたい。

チーム代表 加藤美依奈
チ ー ム 員 横沢美樹

42 大谷短 チーム ビジネス実務

松前町の地域活性化に向けた 新たな提案

高齢者がほぼ40%に達する松前は、働き手の流出や生産活動の空洞化など、深刻な問題を抱えていますが、観光を起爆剤として地域創生・活性化を図ろうと様々な観光イベントを実行しています。このような企画が成果につながっているのか否か、実態調査を行い、地域活性化に向けた新たな提案を行います。

チーム代表 澤村柚衣
チ ー ム 員 澤村麻依・蛯子優奈

43 大谷短 チーム 結城ゼミ

職場で折れない心の作り方 —レジリエンス向上のための介入法とは—

近年、職務上のストレスに伴う自殺やうつ病などの精神疾患が増加しており、メンタルヘルス対策が急務となっています。本研究では、職場におけるメンタルヘルス向上の手がかりとしてレジリエンスに注目し、労働者自身が様々なストレスを跳ね返す力を養うための方法について検討します。

チーム代表 田原未紅
チ ー ム 員 黒島捺美・江口綾香・金澤沙緒莉・北林瑠華・林美希・廣部真冬・三浦杏香

進路を考える
きっかけに。